

みずべ 山口

平成30年2月 No.35



山口県瀬戸内海環境保全協会

表紙の写真

虹ヶ浜海岸（光市）

平成 29 年度「やまぐちのキレイな海岸フォトコンテスト」景観部門 優秀作品

撮影者 森重 芳彦

は　　じ　　め　　に

多彩な自然に恵まれた本県において、白砂青松と多島美を誇り、豊かな生態系を持つ瀬戸内海から、私たちは暮らしや産業の振興、文化の形成に大きな恩恵を受けてきました。

しかし、昭和40年代の高度成長期には、「瀕死の海」と呼ばれるほど環境が悪化し、瀬戸内海環境保全特別措置法の施行や水質総量削減制度の導入など、瀬戸内海の水質改善が喫緊の課題として対策が進められる中、昭和56年に本協会が設立し、生活排水浄化の実践活動をはじめ、環境保全に関する意識の啓発や環境学習の支援など、日常生活や地域に根ざしたさまざまな取組を積極的に展開してまいりました。

こうした取組を経て、現在、瀬戸内海の水質は大幅な改善が図られたものの、その一方で、藻場・干潟の減少や漁獲量の減少、海洋ごみの発生など、新たな課題も発生しています。

このため、水質の保全による「きれいな海」から、生物の多様性・生産性や美しい景観など瀬戸内海の有する多面的な価値や機能が最大限に発揮された「豊かな海」の実現に向け、平成27年に瀬戸内海環境保全特別措置法が改正されるとともに、平成28年には「瀬戸内海の環境保全に関する山口県計画」が改定されたところです。

本協会としましても、国や県の施策に的確に対応し、これまで以上に多様な視点で効果的な取組を展開していく必要がありますので、会員の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、本協会誌「みずべ山口」は、会員の環境保全に関する取組や水質の現状等を紹介するものです。本書を通じて、会員相互の情報共有が図られ、皆様方の今後の活動の一助となりますことを願っています。

平成30年2月

山口県瀬戸内海環境保全協会
会　長　　森　友　信

目 次

- 日本精蠟株式会社徳山工場の環境保全の取組み 1
日本精蠟株式会社徳山工場総務部環境保安課
- テルモ山口の環境保全への取組み 4
テルモ山口株式会社管理部保全課
- エムシー・ファーターイコム株式会社宇部工場の
環境保全の取組み 7
エムシー・ファーターイコム株式会社宇部工場
- 和木町の水環境10
和木町住民サービス課
- 柳井市の水環境13
柳井市市民部市民生活課
- 山陽小野田市の水環境16
山陽小野田市市民生活部環境課
- 今秋、ゆめの未来公園はじまる！19
「山口ゆめ花博」事務局（第35回全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会事務局）
- 環境学習推進センターの概要と環境学習コーナー等の紹介22
（公財）山口県ひとづくり財団 県民学習部環境学習推進センター
- 平成28年度公共用水域及び地下水調査結果について25
山口県環境生活部環境政策課
- 平成29年度環境保全標語入選作品27
- 平成29年度環境保全川柳入選句30
- 環境学習教材利用案内32

日本精蠟株式会社徳山工場の環境保全の取組み

日本精蠟株式会社徳山工場
総務部 環境保安課

1. 徳山工場の取組み

私達は国内唯一の石油ワックス総合メーカーとして責任と自信を持ってワックスを社会に提供することで生活の豊かさに貢献してきました。一方、製品や製造過程での環境負荷によりご迷惑をお掛けすることのないよう健全な「地域環境」、「地域住民」との「共存共栄」を目指す観点から世界的な活動であるレスポンシブル・ケア（RC）に取組み「環境保護と保安防災」に対する自主的な活動を展開しています。

2. 徳山工場の概要

昭和4年南満州鉄道の子会社として設立、昭和5年工場操業開始、昭和20年終戦により閉鎖、昭和26年、新会社として設立され、今日までワックスのスペシャリストとして一筋に歩んできました。



徳山工場は、周南コンビナートの最東部にあり、庄ノ浦工場と打上工場、そして開発研究センターを併設しており、開発から製造までを手掛けております。

3. 環境方針

【基本理念】

日本精蠟株式会社徳山工場は「天然素材の石油系ワックス」を主体とした製品を供給する事業体であることを念頭に置き、地球をより健全な状態で子孫に残すことが私たちの責務と捉え、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

【環境方針】

- (1) 環境保全に関する法規制、条例、協定、ならびに当社が規定する自主規制を遵守する。
- (2) 事業活動を通じ、ライフサイクルに亘る環境負荷低減に向けた取組みを推進し、省エネルギー、廃棄物削減に努める。
- (3) 環境マネジメントシステムの適切な運用により、企業としての「意図した結果」を追及すると共に継続的な改善活動を実施する。
- (4) 環境保全活動への積極的な参画による地域社会との共生、ならびに環境配慮型製品の開発に努める。
- (5) 組織で働く、または組織の為に働く全ての人に環境方針、および地球環境の大切さを周知するとともに、この方針を公表し社会と密接な連携を図る。

4. 環境保全への取組み

近年のBCP観点から下流工程に関しては茨城県につくば事業所、海外拠点としてタイ工場の設立を行いました。上流工程に関しては徳山工場が当社で唯一の工場であり、徳山工場が操業停止になると、下流工程に影響を及ぼし、取引先のみならず、多方面に多大なご迷惑を掛けると同時に、企業の存続も危

ぶまれます。このような危機意識から安全と環境に関して工場の最重要課題として毎年目標に掲げ、地域社会に迷惑を掛けないう工場一丸となって取り組んでいます。

ISO14001については、昨年11月に2015年度版への移行審査が承認され、これまで以上に「継続的環境改善」に取り組んでいます。また、5S環境管理委員会や省エネルギー推進委員会を開催し、全従業員が環境改善活動や5S活動に取り組んでいます。

(1) 省エネルギー

QC活動や省エネルギー推進委員会等による省エネルギー対策を実施しています。また当社の製品は環境にやさしい省エネ素材であり、工場内の省エネに留まらず、お客様の製品に対しても省エネ効果が期待されます。

(2) 環境負荷の低減

近年の原料事情により低硫黄、低窒素燃料の確保が困難となっていますが、ボイラー、加熱炉のオペレーターの技術・技能向上及び加熱炉の省エネタイプへ更新を図る事で、規制値及び協定値は十分クリアしております。

また水質保全対策として、COD、窒素、リンの連続自動測定機の設置による監視及び油水分離凝集加圧浮上、濾過等の排水処理により、工程排水の水質維持に努めています。

(3) 廃棄物対策

定着化した5S活動と環境管理活動を機会に、地域社会との協力を含め、省資源・リサイクル活動を組織的に取り組んでいます。

また、産業廃棄物の再資源化について取り組みを行い、90%以上を再資源化しています。

(4) PRTR物質の排出

自社による焼却炉での焼却処理は廃止し、産業廃棄物処理業者による対応に変更したことで、弊社からダイオキシンの発生は無くなりました。また、その他のPRTR対象物質についても、適正に取り扱っております。

5. 保安防災への取り組み

無事故・無災害を目標として安全操業に全力を挙げて取り組んでいます。

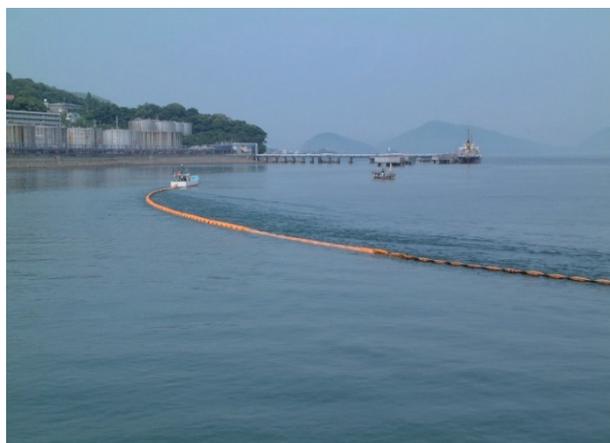
また、自然災害等の緊急時への対応も含めた自衛防災団による消火活動、油流出防止の防災訓練を定期的実施し、防災技術・技能の向上を図るとともに、年4回社内総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚に努めています。



地元消防団との共同防災訓練



社内総合防災訓練



オイルフェンス展張訓練

6. 地域社会との共存共栄

当社の環境保全や保安防災への取組みについては工場周辺の住民の方々に理解して頂くために、周南地区のコンビナート企業と共同でRC地域対話に参加しております。また地元の自治会や消防団とコミュニケーションを図り、地域の防災活動に積極的に参加しています。平成15年には地域防災力の向上への貢献で消防庁長官表彰を受賞しました。

(1) 地域対話

毎年開催されるRC地域対話には積極的に参加し、地域の方々の貴重なご意見を頂き、相互理解を深めています。



RC地域対話会場

(2) 地域防犯活動

地域の小・中学校組織である「つづみ会連絡協議会」に会員として参画し、児童・生徒または地域に居住する青少年の健全な育成活動に父兄の方々と先生とともに取り組んでいます。

(3) 環境美化への取組み

山口県主催の森林ボランティア、3000万人瀬戸内海クリーン大作戦等に参加するとともに、工場周辺の県道清掃、海の清掃活動等を毎年定期的の実施し、地域の環境美化活動に取り組んでいます。



山口県主催森林ボランティア



3000万人瀬戸内海クリーン大作戦



工場前県道の清掃活動

7. おわりに

当社は環境保全を第一とした操業及び環境に優しい製品提供を通じて、これからも社会に信頼され続ける企業を目指して活動してまいります。

テルモ山口の環境保全への取組み

テルモ山口(株) 管理部 保全課



写真1) テルモ山口全景 (2019年竣工予定の3号棟も含む)

1. テルモ山口(株)、テルモ山口D&D(株)概要

テルモ山口は東日本大震災を受け、我々の使命である「医療を止めない」ことを実現するため設立されました。テルモグループの国内製造拠点は、富士山周辺に集中しているため、万が一 富士山噴火や東海地震が発生し生産拠点が大きな被害を受けた場合でも「患者さんへの製品供給を止めない」というBCPの観点で、地震・台風等の天災のリスクが低い山口へ工場進出を行いました。

テルモ山口には、テルモ山口株式会社とテルモ山口D&D株式会社の2つの会社があります。

テルモ山口(株)ではガイドワイヤーという製品を生産しています。ガイドワイヤーとは、カテーテルを病変部へ挿入する前に、手首や足の付け根の血管入口から病変部までの道筋を作るための「医療機器」です。カテーテル

治療は医療経済性も高く、患者さんへの負担も軽減されるため世界中で急激に普及しています。また テルモ山口D&D(株)ではプレフィルドシリンジ（予め薬剤が充填されている注射器）を生産しています。こちらは医療現場における効率性・安全性につながる「医療経済性」に優れた製品です。近年の効果の高い医薬品はそのほとんどが注射剤であり、これらを体内に届けるには注射器や針などの「医療機器」が必要不可欠です。



写真2) 工場で生産しているガイドワイヤー及びプレフィルドシリンジ

テルモは安全かつ確実にその効果を高める「医療機器」を開発・生産することで、更に患者さんに優しい医療に貢献しています。

2. 環境および安全衛生管理

テルモグループはグループとしてグローバルにEHSマネジメントシステム^{※1}を導入しており、ISO14001およびOHSAS18001の認証を取得しています。テルモ山口もグループ会社としてEHSマネジメントシステムを導入し環境保全及び安全衛生の確保に努めています。

※1：環境(Environment)、安全衛生(Health & Safety)を統合したマネジメントシステム

3. 環境保全への取り組み

工場建築時より環境保全を積極的に考慮し、環境に優しい工場作りに努めています。

1) 省エネルギー

クリーンルームでは空調に多くのエネルギーを使用しますが、①ゴールドモーター（トップランナー制度のプレミアム効率モーター）



写真3) プレミアム効率モーター

を採用、②窓ガラスは断熱効率の良い低放射複層ガラスを設置、③排気と給気間で熱交換を実施し、空調エネルギーの削減に努めてい

ます。

また外灯及び生産工程内の照明はすべてLEDを採用すると共に、廊下やトイレは人感センサーを設置し無駄な電力の削減にも努めています。

2) 大気汚染防止法

医療（健康）に関わる企業であるため、工場で使用するエネルギーは環境負荷の低いものを使用しています。そのため使用するエネルギーの大半は電気です。発電機やボイラー燃料も都市ガスを使用しているため煤煙の発生はほとんどありません。



写真4) ガスエンジン発電機

3) 水質汚濁防止法

工場内で発生した排水は全て社内の排水処理施設で処理し放流しています。水質汚濁防止法および瀬戸内海環境保全特別措置法の規



写真5) 水質監視及び排水処理監視システム

制基準を遵守するため、放流前の水質を自動測定装置により24時間連続監視を行うと共に、万が一規制値を超えた場合には放流ポンプが停止し、放流できない構造にしています。

4) 廃棄物削減

工場内で発生する産業廃棄物は、種類ごとに分別を行い、まずは再生資源としてそのまま使用できないかを検討します。それが難しいものに関しては、それぞれ種類ごとに処分許可を受けたリサイクルできる産廃処分場に搬出し適切に処分することにより、リサイクル率はほぼ100%です。

4. 社会とのコミュニケーション

1) エコ活動への参加

ぶちエコ山口宣言の事業所としての登録も行い、ライトダウンデーへの参加、クールビズ促進等に工場として取り組んでいます。

また環境月間のある毎年6～7月にかけて「ECOチャレンジ」を実施しています。家庭や会社で実施する環境や健康・安全によいことの実行を各個人ごとに宣言し、約2ヵ月間その結果を記録します。その成果をポイント集計しそのポイントに応じた寄付を、環境保全活動に対し行っています。

2) チャレンジデー

テルモグループは医療に携わる企業として「健康経営」を目指し、社員の健康増進活動にも積極的に取り組んでいます。テルモ山口は山口市に拠点を置く企業として、地域の健康増進活動に参加し、社員の健康への意識を高めるとともに、地域に貢献できる企業になることを目指しています。

毎年5月の第3水曜日に自治体対抗で行われるスポーツイベント「チャレンジデー」には、2014年から4年連続で参加していま

す。今年は社員有志30名が、工場近くにある山口市民の憩いの場である河原谷公園までウォーキングをしました。取り組みの様子は山口市のHPでも紹介して頂き、地域とのつながりを実感する事ができました。



写真6) チャレンジデー

5. おわりに

当社は「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、グローバル企業として製品・供給・サービスの質を高めたトータルクオリティを提供し、世界の医療現場から信頼されるトップブランドを目指してまいります。

エムシー・ファーターティコム株式会社宇部工場の環境保全の取り組み

エムシー・ファーターティコム株式会社 宇部工場

1. 事業概要

エムシー・ファーターティコム株式会社宇部工場は、宇部市の周防灘に面した場所にあり、宇部興産株式会社の子会社として、1955年10月に創業を開始、2008年8月には、肥料メーカー5社統合によりエムシー・ファーターティコム株式会社宇部工場として新たに発足し、国内肥料メーカーのトップリーダーのひとつとして日本の農業の発展に寄与しています。

当工場は、化学肥料を中心に製造・販売しており、更には農作業の省力化に貢献する被覆肥料や緩効性肥料、農作物の収穫量の向上に効果のある微量要素肥料、環境負荷を低減する環境保全型肥料といった幅広い機能性肥料の普及販売に注力するとともに、品質向上に努めています。

更には、2016年11月、日本国内では弊社のみが製造販売している緩効性窒素肥料であるオキサミドの合成工場を新設し、生産を開始しております。

【宇部工場全景】



2. 事業所の環境管理

2006年10月にISO14001環境マネジメントシステムを構築し、以下の統合マネジメント方針を掲げ、環境の汚染の防止、法令順守、継続的改善に努めています。

【基本理念】

「エムシー・ファーターティコム株式会社の事業基盤は顧客満足度の向上にある」を基本理念に、顧客が求める製品を安全かつ効率的に製造し、安定的に供給するとともに、地球にやさしい環境施策の実施及び従業員の安全・衛生の確保を推進し、日本農業の発展に貢献します。

【行動方針】

- ・環境負荷を十分に考慮し全力を尽くして汚染の予防及び環境負荷の低減に努めます。
- ・省エネルギーの推進、廃棄物の削減と有効利用の推進に努めます。
- ・関連する法的規制並びに地域及び当工場に関係する組織からの要求事項を遵守します。
- ・統合マネジメントシステム（品質・環境・労働安全衛生）の有効性並びにパフォーマンスについて継続的に改善します。
- ・全従業員、協力会社に品質、環境及び労働安全方針を周知し、責任ある行動で活動を進めます。

3. 環境への取り組み

(1) 大気汚染防止

化学肥料の生産において肥料乾燥工程にて使用する燃料を重油としていましたが、再生油に一部転換することにより、産業廃棄物の有効利用及び排ガス中の硫黄酸化物排出量の抑制に努めています。

電力につきましては、生産活動の中での省エネルギー活動を積極的に取り組み、電力原単位の削減に努めています。

(2) 水質汚染防止

工場から排出される汚水等については、水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法、山口県公害防止条例、宇部市環境保全条例などの規制値を遵守し、富栄養物質等の排出抑制に努めています。

特に生産施設から排出される排水については全量回収し再利用しています。

(3) 悪臭防止

肥料を乾燥する工程から排出される排ガスから臭気が発生します。この排ガス中の臭気を処理するために排ガス脱臭装置を設置し、排出基準を満たしたうえで大気へ放出しています。

【排ガス脱臭設備】



(4) PRTR対策

PRTR物質の大気への排出抑制として排ガス除害設備増強、運転管理の改善等により排出量の抑制に取り組んでいます。

(5) 従業員への教育

全従業員を対象に、関係法令の遵守のための社内規定やコンプライアンス教育を定期的実施しています。

(6) 構内等の清掃活動

小集団活動の一環として毎月1日に全従業員が参加し工場敷地境界周辺及び構内の環境美化活動を実施しています。

【工場周辺の清掃活動】



4. 地域社会との共生

(1) インターンシップの受け入れ

地元学生をインターンシップとして受け入れ、職業体験の機会を提供しています。数週間のインターンシップ期間には、現場の従業員に囲まれて肥料づくりを体験していただき、未来を担う若い世代に、ものづくりや農業の大切さを感じていただいています。

(2) 宇部まつりへの参加

かつて炭坑の街であった、山口県・宇部の祝賀行事「炭都祭」を起源とする宇部まつり。現在では多彩なイベントやパレードが行われ、多くの観光客が訪れます。当工場では、地域の人々との交流、地域の人々との交流、地域社会への貢献を目指して、この祭りに協賛参加しています。



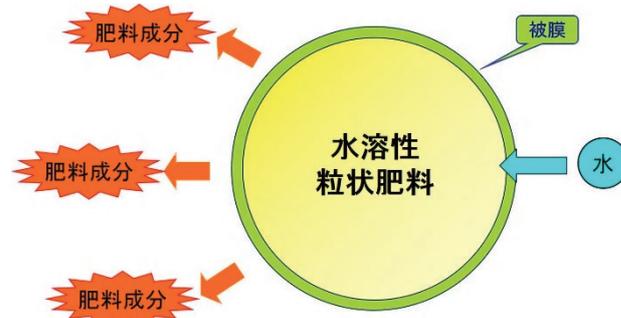
5. 環境配慮型の製品造り

近年、農業従事者の減少、高齢化に伴う施肥作業の省力化および肥料の過剰施肥に伴う地下水汚染低減を可能とする被覆肥料の重要性が増しています。

被覆肥料とは、水溶性の粒状肥料を樹脂で被覆し、肥料成分の溶出を制御可能にした肥効調節型肥料であり(右図参照)、作物の

生育にマッチした適期・適量肥効発現が可能となり省力化・環境保全型農業が可能になります。

当社では作物の特徴や品種、地域に合わせて速効性肥料と被覆肥料をバランス良く組み合わせることで、収穫まで追肥の必要がない元肥一発肥料を提供しています。また、土壌中微生物により分解される被覆材を用いて、被膜殻の残留を極力減らす『生分解性被覆肥料』を提供し、農業従事者の作業省力化及び富養物質等の流亡を抑制し、環境負荷低減に貢献しています。



被覆肥料の溶出イメージ図

6. おわりに

環境安全を守ることは、すべてに優先されるべき企業活動の基本です。環境安全活動を通して、従業員一人ひとりが環境安全を意識し、高めてまいります。これからも環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会に貢献できるよう努力してまいります。

和木町の水環境

和木町住民サービス課

1. 和木町の概況

本町は、山口県の最東端に位置し、広島県と1級河川小瀬川を挟んで隣接しています。町域は岩国市と接し、北は広島県大竹市、東は瀬戸内海に面しています。行政区域面積はわずかに10.58km²と県内で最も小さく、そのうち約50%は山林であり、平地のほとんどは住宅地と工業用地となっており、農耕地はわずか2.7%となっています。

瀬戸内海沿岸部には、JXTGエネルギー（株）と三井化学（株）があり、日本で最初に形成された石油コンビナートのある工業のまちです。



(石油化学コンビナート)

本町の住民基本台帳人口は、約6,500人でここ数年間は、横ばいの状況が続いています。平成29年1月1日現在の年齢構成では、15歳未満の年少人口割合が16.22%で、山口県の12.04%、全国の12.62%を大きく上回っており、65歳以上の老年人口割合は25.58%で、山口県や全国より低い割合であり、子どもの割合が高いという特殊性を持っている町です。

町行政の特色としては、子育て支援施策に力を入れており、幼稚園、小学校、中学校のすべてにおいてバランスの取れた栄養価の高い給食が無料で出されています。このほかにも、小・中学校のICT化、ALTによる英語教育の強化、英語・漢字・数学検定受験料や海外ホームステイの助成、中学3年生までの医療費助成など、様々な子育て支援施策が行われています。

また、老朽化した保育所・幼稚園を建替え、新たに幼保連携型認定こども園を建設する事業に着手しています。



(認定こども園完成予想図)

本町の山間部にある「蜂ヶ峯総合公園」は和木町の唯一の観光資源であり、昭和62年のオープンを皮切りに、平成2年にはバラ園の完成、平成3年に、ミニSLの運行開始、平成4年にローラーすべり台が完成するなど、町民だけでなく、近隣の人々にも愛される公園となっています。平成7年には隣接地に本格的なゴルフ場がオープンし、公園を中心とした一大レジャーランドとなりました。

5月に開催されるローズフェスタでは多くの方が来園され、活気にあふれています。



(蜂ヶ峯総合公園バラ園)

また、平成20年には山口県の東の玄関口としてJR山陽本線に和木駅が開業、駅を拠点に町のコミュニティバス「あいあいバス」も町内を巡回しており、交通アクセスが大幅に向上しています。



(JR山陽本線和木駅)

2. 和木町の水環境の状況

本町における上水道は現在、和木地区は錦川を水源とした岩国市からの供給、また、瀬田・関ヶ浜地区は小瀬川を水源とした簡易水道施設により給水されています。

水質保全対策のうちで生活排水対策とし

て、下水道は、昭和56年に本町の下水処理施設をはじめ計画区域全域の共用が開始され、普及率は99.5%です。水洗化による清潔な暮らし、自然環境の保全、水質汚濁の防止に大きな効果を上げています。

事業系排水対策としては、町内企業と環境保全に関する協定書を締結し、工場排水調査のための立入調査の実施、定期的に工場から排出される大気・水質の調査結果の報告を求め、施設の変更についても届け出を受けています。また、ゴルフ場からの排水についても水質検査の報告を受けています。

町としても町内各地において、大気や小瀬川の水質検査を定期的に行っています。

3. 小瀬川について

小瀬川は、山口県、広島県の県境を流れ、その流域に絶えず清く豊かな水を供給しています。本町、広島県大竹地区はその良水に恵まれ、石油精製、石油化学などをはじめとする工場が林立し、瀬戸内海工業地帯の一角として発展しています。

この小瀬川への感謝と、大竹市・和木町の益々の融和と発展を祈念して、毎年7月に大竹・和木川まつり花火大会が開催されています。



(大竹・和木川まつり花火大会)

5月には和木町漁業協同組合の協力により、1日間だけではありますが、小瀬川河口が町民に開放され潮干狩りを楽しむことができ、多くの人々でにぎわっています。



(小瀬川河口での潮干狩り)

また、町民の方々の協力を受け、夏には国土交通省による河川の一斉清掃「クリーン小瀬川」が実施され、春と秋には、町主催による「町内一斉清掃」を行って環境美化に努めています。



(町内一斉清掃)

柳井市の水環境

柳井市市民部市民生活課

1 柳井市の概要

本市は、山口県の南東部に位置し、東と北は岩国市、西は田布施町及び平生町、南は室津半島の半ばで上関町に接し、瀬戸内海に面しています。

多島美を誇る瀬戸内の景観をはじめ、市街地周辺の山々など緑豊かな自然に恵まれており、山間部や半島部、島しょ部においては、田園風景や自然海岸などが現在も残されています。



本市には、日本三大潮流の一つである大島瀬戸やサザンセット伊保庄マリナーパークなど海を中心とした豊かな自然のレジャー資源のほか、江戸時代中期の商家「国森家住宅」(国指定重要文化財)をはじめとする「古市・金屋地区の白壁の町並み」(国選定重要伝統的建造物群保存地区)や、日本最大の単頭双胴怪獣鏡(大鏡)を出土した「茶臼山古墳」(国指定史跡)、幕末の維新に人材を輩出した僧月性が開塾した清狂草堂や月性記念館など、歴史的な観光資源があります。

本市では、これらの観光資源の活用に加え、やまぐちフラワーランドや柳井ウェルネスパーク、平成25年に開設した都市農村交流施設ふれあいどころ437といった新しい交流拠点との連携や柳井金魚ちょうちん祭りなどのイベントの開催によって、観光客の誘致に努めています。



[大島瀬戸と大島大橋]

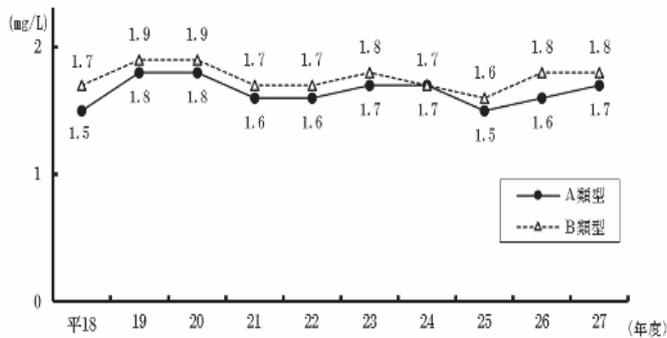
2 河川・海域の状況

環境基準が設定されている海域7地点(柳井・大島海域)及び河川5地点(柳井川、土穂石川各2地点、由宇川1地点)と、石神川、龍華川などの中小河川13地点で測定を行っています。

(1) 海域の水質

柳井・大島海域の水質は経年的に環境基準をほぼ達成しており、代表的な汚濁の指標であるCOD(化学的酸素要求量)の値も良好な値を示しています。

柳井・大島海域の水質汚濁状況（CODの年平均値の推移）

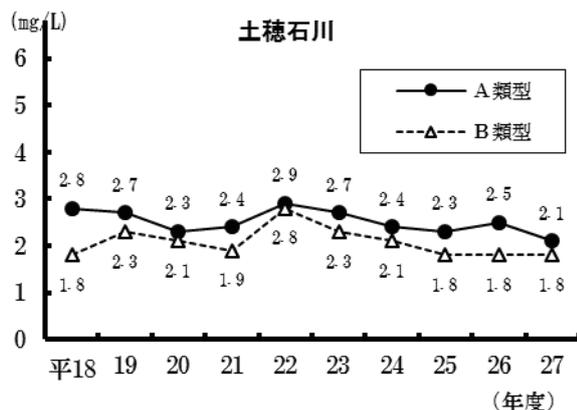
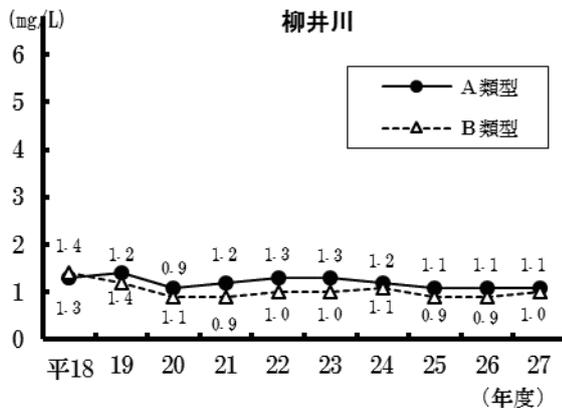


〔柳井川〕

（河川の水質）

市内を流れる代表的な河川である柳井川と土穂石川は、長年にわたり全国や県の他の河川と比較して生活排水等の影響で水質が汚濁している状況にありましたが、近年の生活排水処理施設の整備により、改善傾向にあります。

河川の水質汚濁状況（BODの年平均値の推移）



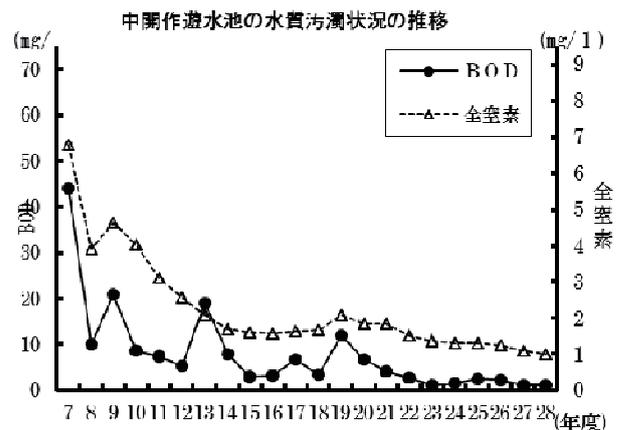
3 水環境保全に向けての取組

本市では、下記の事業を継続的に推進することにより、水環境の保全に努めています。

（1）公共下水道の整備

本市の下水道整備は、平成6年3月に一部地域の供用を開始しており、下水処理人口普及率は、平成27年度末で30.1%となっています。

下水処理区域下流にあたる中開作遊水池の水質汚濁状況の推移は次のとおりで、下水道の普及に伴う水質浄化が認められます。



（2）農業集落排水施設の整備

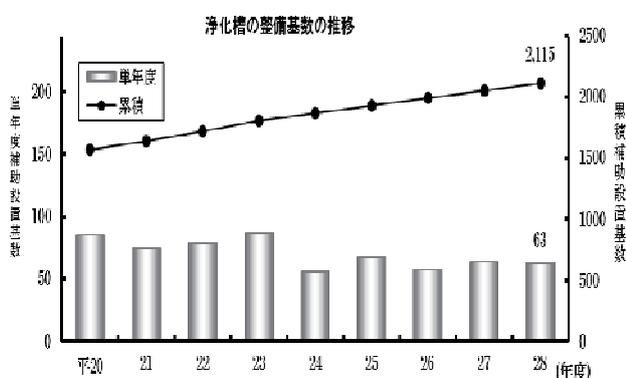
農業集落排水は、農村地域の生活環境の改善、農業用水の水質保全是もとより、農村地域の多様な動植物の豊かな生態系の保全など、

自然環境の保全・回復にも寄与しています。

特に本市では、平成6年に一部地域の供用を開始した余田地区において、土穂石川及び周辺水路の水質改善等に寄与しています。

(3) 浄化槽整備事業

生活排水浄化対策の推進及び公衆衛生の向上を図るため、平成元年度から家庭用小型浄化槽の設置補助制度を実施しています。補助による浄化槽の整備基数は、平成28年度は63基、累計2,115基となっています。



(4) 親と子の水辺の教室

親と子が水生生物等を観察しながら水辺に親しみ、水質を保全することの大切さについて学習する『親と子の水辺の教室』を開催しています。平成29年度は、7月28日に由宇川水系日積川で開催し、71名の参加がありました。



〔日積川で行われた水辺の教室〕

4 柳井市をきれいにする条例

平成14年度に、「柳井市をきれいにする条例」を制定し、良好な生活環境を保全し、市民の誇れる清潔で美しいまちづくりを推進しています。

また、この条例に基づき、毎年6月に「柳井市をきれいにする実践活動の日」を定めて「市内一斉清掃」を行っています。例年、約3,000人の参加者が、河川・海岸清掃や、道路・公園等の空き缶、ごみ拾い活動などを行い、市内の環境保全に市民挙げて取り組んでいます。

また、市内の環境美化活動を行う個人や団体にボランティア専用ごみ袋を交付しています。この専用ごみ袋を使って集められたポイ捨てごみ等は、市が回収しています。例年2,000～3,000袋分のごみが回収されています。

5 今後の取り組み

河川等の水質汚濁の主要な原因は生活排水となっています。

今後も、下水道や浄化槽等の生活排水処理施設の整備・促進に取り組むほか、市民とともに行う清掃活動や将来を担う子ども達へ環境保全に関する意識啓発を行うことなどにより、官民一体となった美しいまちづくりを推進していきます。

山陽小野田市の水環境

山陽小野田市市民生活部環境課

1. 山陽小野田市の概要

山陽小野田市は、山口県の南西に位置し、海を隔てて南に九州国東半島、西に関門橋を望む瀬戸内海周防灘に面しています。地形は、南北が約20km、東西が約15kmで、東は宇部市、西は下関市、北は美祢市に接しています。

人口は約6万3千人、面積は132.99km²、沿岸平野部のほとんどは干拓地で工業・商業とも古くからこの干拓地を中心に発展してきました。また、市の北部には標高323.7mの松嶽山、市の中部の宇部市寄りには広域公園の江汐公園、南部には標高135.7mの眺望の地、竜王山があります。

本市は市街地を囲むように丘陵部の里山、河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然環境に包まれています。

古くから山陽道や山陰と山陽を結ぶ交通の要衝の地として栄え、江戸時代には、本市を通っている山陽道が参勤交代や物資流通などの道として利用され、現在は、山陽自動車道、JR山陽新幹線などの高速交通網の整備により、利便性が高い交通の要衝となっています。

また、石炭産業が盛んで、明治14年には、日本初の民間セメント会社が設立されるなど、明治以来、窯業・化学工業を中心に工業の街として発展してきました。

平成13年には、東沖へ県立おのだサッカー交流公園が開設され、平成23年の山口国体のサッカー会場として使用されています。平成26年には、レノファ山口のホームタウンのひとつに承認され、スポーツ交流の中心

の場となっています。

平成28年4月には、公立大学山陽小野田市立山口東京理科大学が開設され、平成30年4月には山口県内初の薬学部が開設します。本市のにぎわいの創出や地域活力の向上につながると期待をしています。



焼野海岸の夕日

2. 河川・海域の状況

本市域を流れる河川には、美祢市に源流を持ち、宇部市楠地区を経て本市中央部河口に流れる有帆川、同じく美祢市に源流を持ち、その西側を流れる厚狭川があります。工場や事業場は有帆川河口から小野田港周辺までの海岸線一帯に密集しており、市南部は石油化学工業地帯となっています。

旧小野田市は、昭和45年12月に水圏公害研究所を設置し、海域をはじめとして公共用水域の水質調査を積極的に実施してきました。

昭和46年5月には海域に、昭和48年8月には有帆川及び厚狭川について、それぞれ水質環境基準の類型指定がされました。本市

は、環境調査センターを保有し、海域をはじめとする公共用水域の水質調査や工場排水調査、降下ばいじん等の大気調査等を実施しています。

海域の水質調査については、4地点で毎月1回実施しています。全窒素及び全磷は、Ⅱ類型、Ⅲ類型ともに月により多少の増減はありますが、おおむね環境基準を満足しています。水質汚濁の指標であるCODはA類型、B類型ともに環境基準を満足しています。

河川の水質調査については、類型指定のされている厚狭川4地点、有帆川3地点、大正川1地点で年6回実施しています。BODは、年により多少の増減はありますが、おおむね環境基準を満足しています。

海域の水質調査結果（平成28年度平均）

測定点	水質類型	COD(mg/L)
小野田港沖	B・Ⅲ	1.2
きららビーチ沖	B・Ⅱ	1.1
西部石油沖	B・Ⅲ	1.1
埴生干拓沖	A・Ⅱ	1.2

河川の水質調査結果（平成28年度平均）

水系	測定点	水質類型	BOD(mg/L)
有帆川	中国橋	B	0.9
	有帆新橋	B	1.1
	旦橋	B	1.0
厚狭川	湯の峠橋	A	0.9
	厚狭新橋	A	0.9
	下津橋	B	0.9
	厚狭川橋	B	0.9
大正川	石丸橋	B	1.4

【水辺の教室】

「親と子の水辺の教室」は、夏休み期間を利用して、子供達が親と一緒に身近な水辺に親しみながら、環境や自然の大切さを実感していただくために開催しています。旧小野田市では昭和60年にスタートし、新市に引き継がれ今年で33年目となります。

また、平成15年までは有帆川で実施していましたが、河川環境の変化により大人数での安全な調査に適した場所が無くなったため、翌16年から厚狭川で実施することとなり、現在に至っています。

平成29年度の水質判定の結果は水質階級Ⅰ（きれいな水）であり、参加した子供からは「知らない生物を知ることができて良かった。」等好評でした。



水辺の教室の様子（厚狭川支流の石束川）

【ごみひろい選手権】

本山地区焼野海岸で開催される「やけの美タフェスタ」に合わせ、環境問題への取組みを実践していただく一環として「ごみひろい選手権」を開催しました。市内小中学生を対象にボランティアを呼びかけ、平成24年から始まり、今年で6回目となります。ふるさとの海岸美化活動に取り組むことで、環境問題への意識を高めました。



ごみ拾い選手権の様子（焼野海岸）

【津布田海岸漂着物清掃】

当市快適環境づくり協議会、自治会連合会及び埴生地区自治会協議会並びに周辺自治会と共同で津布田の「食道楽帆万里」周辺の海岸線にて海岸漂着物の回収、清掃作業を行いました。88人が参加し、約350m区間の海岸線に散乱するビン・空き缶・ペットボトル・流木などを約1時間かけて回収しました。

その結果、ごみの実質重量は燃やせるごみは240kg、燃やせないごみは30kgになりました。

地域の快適な環境づくりを目指して毎年、同海岸と縄地ヶ鼻海岸、焼野海岸を交代で海岸漂着物清掃を実施しています。



津布田海岸漂着物清掃の様子

今秋、ゆめの未来公園はじまる！

「山口ゆめ花博」事務局

(第35回全国都市緑化やまぐちフェア実行委員会事務局)

国内最大級の花と緑の祭典 「山口ゆめ花博」

名称：第35回全国都市緑化やまぐちフェア
会期：9月14日（金）～11月4日（日）【52日間】
会場：山口きらら博記念公園
テーマ：山口から開花する、未来への種まき。
～150年を振り返り、次の150年につなぐ～

1 山口ゆめ花博とは？



山口県では、都市緑化の意識高揚などを目的として開催する国内最大級の花と緑の祭典、全国都市緑化フェアを、山口ゆめ花博の愛称で開催します。

また、山口ゆめ花博を明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして位置付けており、「ゆめの未来公園はじまる！」をキャッチコピーに、花や緑の観賞を楽しむ場所を設けるのはもちろん、さまざまな体験型の企画を実施し、多くの方に楽しんでいただける、各種イベントを行います。

2 明治150年プロジェクト 「やまぐち未来維新」とは？



平成30年は、明治改元から150年を迎える年です。山口県では、幕末・明治期の未知の時代を切り拓き、わずか50年余りという短期間で急速な産業化を成し遂げた先人たちの「志」と「行動力」に学び、これを今に活かし、未来へつなぐことをコンセプトに、明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」を展開しています。

3 6つの特徴

山口ゆめ花博は「咲き誇る1,000万の山口県の花」や、「山口県から始まる子どもの育ちを支える公園」など6つの特徴を持っています。

(1) 咲き誇る1,000万の山口県の花

国際園芸博覧会2016で、金賞・銀賞を受賞した山口県オリジナルのユリ、プチブラン、プチルナ、プチソレイユをはじめ、シンボル大花壇では、高品質な花が織りなす美の世界を楽しむことができます。



(2) 山口県から始まる

「子どもの育ちを支える公園」

山口大学と山口県の共同研究で、遊びの新しい環境を創造し、遊びたい心を触発、子どもの育ちを支えます。



(3) 日本一に挑戦！

4つの日本一に挑戦します。

- ・日本一長い竹のコースター
- ・日本一高いブランコ
- ・日本一長いブランコ
- ・日本一広い芝生広場



(5) 心躍る1,000のイベントと体験プログラム

主催者が実施するイベントのほか、企業・団体、県民、自治体が様々な企画を持ち寄り、山口ゆめ花博を盛り上げます。



(4) ファンタスティックなナイトプログラム

全国都市緑化フェアで初めて、本格的な夜間開催を行い、参加型の魅力的なナイトプログラムを展開します。

「秋の夜を楽しむ光のファンジー」をキャッチコピーとして、ライトアップされた1,000万の花と2つのナイトプログラムが公園の新しい夜の風景をつくりだします。



(6) 新しい公園の夢を持ち寄る県民参加プログラム

新しい公園をつくりだすアイデアを持ち寄り、みんなでつくる山口ゆめ花博とするため、県民、企業・団体が参加して、一緒に「ゆめの未来公園」づくりを行います。

多くの県民の方が参画し、花・緑・公園について、暮らしの中の新しい活用法に挑戦します。



4 連携会場

明治150年の節目に県内各地に広がる取り組みとして、各地の公園・緑地、観光拠点、花や緑の名所、道の駅等のうち、山口ゆめ花博の趣旨に沿って展示、イベント、情報発信等を行う場所を「連携会場」と位置付け、本博の開催効果を全県に拡大します。

- ・歴史・文化、観光地、特産品の紹介
- ・伝統芸能等の披露
- ・各種イベント

☆山口ゆめ花博スタンプラリー☆

「連携会場」間での周遊を促し、地域振興や山口ゆめ花博のPRにつなげるため、スタンプラリーを実施しています。スタンプを集めて、花にまつわる景品をもらおう！



5 入場券

(1) 普通入場券

(単位：円・消費税込)

区分	当日	前売
大人	1,200	900
高校生	800	600
小・中学生	600	500
小学生未満	無料	

(2) パスポート券

(単位：円・消費税込)

区分	当日	前売
大人	3,000	2,400
高校生	2,000	1,600
小・中学生	1,500	1,200
小学生未満	無料	

※70歳以上・障害者等は特別割引入場券あり。

※県内の学校の行事であれば無料

※前売は4月から発売

※パスポート券は、期間中何度でも入場できます。

6 おわりに

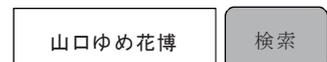
今秋、きらら博記念公園に「ゆめの未来公園」出現。圧倒的な花景観・ファンタスティックなナイトプログラム、心躍る1,000のイベントの体験など、山口ゆめ花博は、老若男女すべての人が楽しめます。待っちゃるよ！



メインキャラクター
やまりん

サポートキャラクター
ちよるる

詳しくは公式ホームページをご覧ください。



環境学習推進センターの概要と環境学習コーナー等の紹介

(公財) 山口県ひとづくり財団 県民学習部環境学習推進センター

1. 環境学習推進センターの概要

当センターは平成18年度に環境学習の拠点施設として、山口県セミナーパーク内に設立され、山口県環境学習基本指針に基づき、環境学習関連施設、民間団体、学校等において、循環型社会の形成、地球温暖化の防止、自然環境保全等の幅広い課題について、県民の方々が自発的に学習されるように支援しています。

2. 総合的支援の柱

当センターでは、環境に関する各種情報や活動の機会を提供する「情報発信・機会づくり」、県民の方々（成人、子供）を対象とした環境学習講座・講演会を開催するとともに民間団体・学校等が開催する講座を支援する「人材づくり」、学習教材を整備・充実し、地域や学校での環境学習を支援する「教材づくり」、県民、NPO等、事業者、行政などの各主体が交流し連携を深めるための支援「交流・ネットワークづくり」の4つの柱で環境学習を総合して支援しております。

3. 環境学習コーナーについて

環境学習コーナーはセミナーパーク本館棟1階ロビーの一角にあり、次のような所蔵する教材を、来所者に利用できよう書架に配置しています。

(1) 書籍

地球環境、自然環境、エネルギーを含む10の分類で環境・自然関係の雑誌が6冊有り、図書は579冊所蔵しています。ロビーには机といすが用意され、誰でもそこで閲覧

できます。



(2) DVD

DVDも64ソフトあります。書架に題名内容を記載したパッケージがありますので、それを環境学習推進センター事務所に提出して頂ければ、ディスクをお貸しします。環境学習コーナー横の液晶テレビで視聴できます。

(3) 展示パネル

コーナーの一角にはパネル展示場所があり、地球温暖化、3R等のテーマにした啓発パネルや貴重な山口県の動物種など写真を展示しております。10月末までは、当センターが実施した山口「環境絵日記」コンテストの入賞した18作品を展示しておりました。展示パネルは16テーマあります。

(4) パソコンコーナー

コーナーにはパソコンが設置され、当センターのホームページ「環境学習のひろば」に接続され、所蔵されている環境学習教材の検索及び通常のWEB上の情報の検索もできます。

4. 環境学習教材の貸出

環境学習コーナーの書架に配置されている学習教材及びその他の所蔵教材は、日頃の環境学習で利用して頂くために貸出制度があります。研修、授業や体験活動、校内展示にご利用いただきたいと思えます。

(1) 貸出教材

雑誌を除く図書、DVD、VHS ビデオ、環境学習啓発パネル、紙芝居、その他、詳細な教材リストは環境学習推進センターHP をご参照いただくか、環境学習推進センター（083-987-1110）へ直接お問い合わせください。

(2) 貸出部数・期間

図書は3冊まで、DVDは併せて3本までです。貸出期間は15日以内です。

(3) 貸出・返却方法

貸出・返却は山口県セミナーパーク内の環境学習推進センターで行います。配送による貸出・返却も可能です。ただし、送料は利用者負担になります。環境学習啓発パネルはセンターでの貸出・返却に限ります。

(4) 申込方法

「環境学習教材貸出申込書」に必要事項を記載して送付してください。（郵送、持参、FAX、メールいずれの方法でも可能です。）

(5) その他

教材、期日等が重なった場合、先に申込みがあった方を優先しますのでご了承ください。6月10月は利用が多い時期です。早めにお申し込みください。

5. 「山口県の先人学習コーナー」



環境学習コーナーの上の階にはセミナーパークの図書館があり、その中に「山口県の先人学習コーナー」があります。長州藩は明治維新に大きな役割を果たし、明治以降は山口県となり、国と山口県の近代化に貢献した人物を多く輩出してきました。これらの先人達の功績と人となりについて、「人」「時代」「産業」「郷土」をテーマに分かりやすく説明したパネルや資料が展示されています。産業に関わった人の中には、既に社会貢献（CSR）を実行された方もあります。是非このコーナーにも立ち寄って頂きたいと思えます。先人の足跡をたどることは、環境学習推進センターの目標である「環境について、自ら考え行動できる人材の育成」にとって、自ら行動できる人へと成長する切っ掛けになると考えています。

6. 自然ふれあいゾーン



セミナーパークは陶ヶ岳、火の山山麓に有り、自然環境に恵まれています。広大なパーク内は「自然ふれあいゾーン」があり、ここには県木、市町木等が植栽され、森になっています。池は5カ所有り、水中生物が飼育されている池、野鳥観察ができる池、湿性植物が観察できる池、トンボなどの昆虫が観察できるビオトープ池などがあります。ゾーン内には小道が整備され、自然体験ができます。また、小道に沿って環境クイズ、現在は地球温暖化に関するクイズパネル 17 箇所設置され、散策しながら環境学習ができます。小学生などが自然体験とクイズラリーを楽しみながら環境学習を行うには最適ですし、成人の方では自然の中で心と体を少し癒やすことができます。

7. おわりに

この度、環境学習推進センターの概要と環境学習教材を中心に紹介をいたしました。支援の事業としては先に少し説明しましたように学習講座、講演会、交流会、あるいは学習指導者を派遣するバンク制度もあります。

詳しくはホームページ「環境学習のひろば」URL

<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>に掲載されております。インターネット接続環境にある方は是非ご覧ください。また、当センターの実施する講座・講演会への受講者・参加者は小学生とその保護者、60歳以上の方が多く傾向にあります。20～50歳代の方は仕事、家庭ともに多忙な世代とは存じますが、可能な限り当センターが実施する環境学習事業へ受講・参加頂くように切に希望しております。

平成28年度公共用水域及び地下水調査結果について

山口県環境生活部環境政策課

1. 公共用水域水質調査結果について (公共用水域の環境基準等の達成状況)

(1) 健康項目

調査対象地点138地点において延べ3,143項目を測定し、全ての地点で環境基準を達成している。

(2) 生活環境項目

有機汚濁の代表的な指標であるCOD(化学的酸素要求量)又はBOD(生物化学的酸素要求量)については、6海域、30河川及び10湖沼で環境基準を達成している。(表1)

ア 海域 (COD)

海域の72.2%で環境基準を達成している。なお、広島湾西部など6海域の一部の水域及び山口・秋穂など3海域については環境基準を達成していない。

イ 河川 (BOD)

河川の96.8%で環境基準を達成しているが、土穂石川の一部の水域は環境基準を達成していない。

ウ 湖沼 (COD)

湖沼の90.9%で環境基準を達成しているが、高瀬湖は環境基準を達成していない。

エ 海域及び湖沼 (窒素・りん)

海域では、窒素・りんのいずれも環境基準を達成している。

一方で、湖沼では、弥栄湖のみ環境基準を達成している。

表1 BOD(河川)、COD(海域、湖沼)に係る環境基準の達成状況

区分 水域	達成	一部の類型を除き達成	未達成
海域	平生・上関、柳井・大島 豊浦・豊北地先、仙崎・深川湾 萩地先、阿武地先	広島湾西部、笠戸湾・光、徳山湾 三田尻湾・防府、中関・大海 響灘及び周防灘(宇部・小野田)	山口・秋穂 響灘及び周防灘(下関) 油谷湾
河川	錦川、由宇川、柳井川、田布施川 光井川、島田川、切戸川、平田川 末武川、富田川、夜市川、佐波川 榎野川、南若川、厚東川、有帆川 厚狭川、真縮川、木屋川、友田川 綾羅木川、武久川、川棚川 栗野川、掛淵川、深川川、三隅川 阿武川、大井川、田万川	小瀬川、土穂石川	
湖沼	弥栄湖、山代湖、菅野湖、米泉湖 菊川湖、大原湖、常盤湖、小野湖 豊田湖、阿武湖		高瀬湖

注) 1 環境基準達成とは、すべての環境基準において、日平均値の環境基準適合日数が総測定日の75%以上である場合をいう。

2 海域及び湖沼はCOD、河川はBODである。

表2 窒素・リンに係る環境基準の達成状況

区分	達成	未達成
水域		
海域	広島湾西部、柳井・大島、平生・上関、笠戸湾・光徳山湾、三田尻湾・防府、中関・大海、山口・秋穂響灘及び周防灘（宇部・小野田）響灘及び周防灘（下関）、豊浦・豊北地先油谷湾、仙崎・深川湾	
湖沼	弥栄湖	山代湖、菅野湖、米泉湖、菊川湖、大原湖 小野湖、豊田湖、阿武湖

注) 弥栄湖、山代湖、菅野湖、米泉湖、大原湖及び阿武湖の窒素については、当分の間適用しない。

2. 地下水水質調査結果について

(地下水質の現況)

地下水の水質汚濁の状況を監視するため、水質測定計画を作成し、地下水の水質調査を実施している。

県内の全体的な地下水質状況を把握するため、13市5町116地点において概況調査を実施しており、全ての地点で環境基準以下であった。(表3)

また、汚染状況の継続的な監視として、これまでにテトラクロロエチレン等有機塩素化合物による地下水汚染が確認されている地区など、9市1町17地区64地点において、継続監視調査を実施している。(表4)

その結果、汚染物質の濃度は、ここ数年おおむね横ばい又はやや低下の傾向が見られ、平成28年度は7地区の全測定地点で環境基準値以下となっている。

表3 地下水調査結果（概況調査）

調査物質	調査地点数	超過地点数
砒素	10	0
総水銀	11	0
四塩化炭素	10	0
1,2-ジクロロエレン	22	0
1,1,1-トリクロロエタン	67	0
テトラクロロエレン	64	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	37	0
ふっ素	26	0
ほう素	21	0
ダイオキシン類	12	0
その他の有害物質	315	0

表4 地下水調査結果（継続監視調査）

調査物質	調査地点数	超過地点数
砒素	1	1
総水銀	5	1
四塩化炭素	3	0
1,1-ジクロロエレン	1	0
1,2-ジクロロエレン	39	2
1,1,1-トリクロロエタン	1	0
トリクロロエレン	52	3
テトラクロロエレン	52	14
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	5	0
ほう素	1	1
クロロエレン（塩化ビニルモノマー）	5	0

平成29年度環境保全に関する標語入選作品

【選者 中原中也記念館 名誉館長 福田百合子】
(敬称略)

賞	作 品	氏 名	所属等
金	この地から いざ始めよう エコ維新	中川真由美	日本製紙(株)岩国工場
銀	みんなを育む瀬戸内海 今度は僕らで恩返し	前多 大貴	山陽小野田市立厚狭中学校第3学年
	めぐる水 地球の未来 つくる今	金崎 文子	一般
銅	健康が イイネ 地球も人間も	松海 恭平	日鐵住金溶接工業(株)光工場
	美しい地球を子供に残すのは、 ひとりひとりの心がけ	永 田 功	出光興産(株)徳山事業所
	豊かな海山いつまでも 未来のためにできる今	原田 明彦	東ソー(株)南陽事業所
佳作	残そう自然の文化遺産 わが故郷の銀干潟	西岡 敏幸	東洋紡(株)岩国事業所
	いつまでも 世界が羨む 瀬戸の海	久保 康弘	日本製紙(株)岩国工場
	きれいな海をよごさない、 きれいな海はよごれない！	須田 隆彦	中国電力(株)岩国発電所
	瀬戸内海 皆で守ろう 誇れるふるさと	室本 昭彦	中国電力(株)上関原子力発電所 準備事務所
	受け継ごう 豊かな自然と 青い海	久恒 勇一	旭化成建材(株)岩国工場
	我々の想いは ひとつ 住みよい地球	片岡 敏幸	三井化学(株)岩国大竹工場
	瀬戸の海 心が安らぐ みんなの想い	正重 和也	JXTGエネルギー(株) 麻里布製油所
	清掃で 地域と心を 繋げる輪	上部 敬純	武田薬品工業(株)光工場
	澄んだ海 人の絆で 守る瀬戸内	松岡 孝尚	新日鐵住金ステンレス(株) 製造本部光製造所
	守りましょう！きらめく美しい瀬戸内海	松原 隆彦	中電プラント(株)下松事業所
	瀬戸内の 環境保全で 造る海	松永 晋治	第一ビルサービス下松事業所
	瀬戸内海 みんなの宝だ 大切に	伊 藤 健	東洋鋼鈑(株)下松事業所

賞	作 品	氏 名	所属等
	気遣いが 守る自然と その笑顔	内藤 博志	(株)日立製作所笠戸事業所
	繋げよう きれいな水域 瀬戸の海	宮崎 浩	帝人(株)徳山事業所
	未来まで 育み守ろう 豊かな自然	鈴木 啓介	出光興産(株)徳山事業所
	地道な活動、確かな一歩！ みんなで続けるエコ活動！	伏見 貴宏	(株)出光プラントック徳山
	次世代に 繋ごう守ろう 豊かな自然	高村 真史	日本ゼオン(株)徳山工場
	汚さない みんなのふるさと 瀬戸の海	中本 節子	三井化学SKCポリウレタン(株)徳山工場
	穏やかで 光輝く瀬戸の海 推進しよう 環境保全	福田 和彦	東ソー(株)南陽事業所
	育もう 命溢れる 瀬戸の海	徳永 敬助	東ソー(株)南陽事業所
	みんなで守る瀬戸の海、未来へ向けた贈り物	三浦比呂志	東ソー(株)南陽事業所
	子供と取り組む清掃活動 未来へ受け継ぐ環境意識	横山 祐介	(株)東ソー分析センター
佳作	綺麗だね みんなで言える 瀬戸の海	松枝 和徳	日新製鋼(株)周南製鋼所
	育てよう 豊かな心 ECO活動	熊野 尚仁	日新製鋼(株)周南製鋼所
	ありがとう 感謝の気持ちで リサイクル	南野 安男	協和発酵バイオ(株)山口事業所防府
	エコ意識 育む環境 明るい未来	嶋田 武治	テルモ山口(株)
	みんなの心 合わせて守る 地球環境	作村 嘉生	宇部興産(株)宇部ケミカル工場
	育てよう豊かな未来と豊かな環境	田坂 博志	協和発酵バイオ(株)山口事業所宇部
	はじめよう 豊かな未来へ エコ活動	村田 英治	協和エンジニアリング(株)宇部出張所
	エコ活動 緑のバトンを 次世代へ	田村 宏之	宇部興産機械(株)
	考えよう 廃棄はせずに リサイクル	中村 満	宇部興産(株)宇部セメント工場
	残そうよ 綺麗な浜と 青い海	森 圭介	(有)森運送
	家庭から 地域に広げる 環境保全	石川 浩二	西部石油(株)山口製油所

賞	作 品	氏 名	所属等
佳作	大事にしよう 自然豊かで住み良い地球	縄田 勝美	太平洋マテリアル(株)小野田工場
	エコ意識 わたし変われば 周りも変わる	岡田 賢二	中電プラント(株)山口支社
	繋げよう 地球の未来と 資源の輪	時山 博吏	NGKエレクトロデバイス(株)
	青い海 きれいな環境 瀬戸の街	宇津見博志	宇部興産(株)伊佐セメント工場
	ごみゼロで 緑のバトンを 次世代へ	藤山 貴文	(株)神戸製鋼所長府製造所
	守りましょう 宇宙に一つの 青き地球	栗名 巧	山口県立下関工科高等学校
	みんなで守ろう、世界に誇れる 瀬戸内海	吉本 惇	山陽小野田市立厚狭中学校第3学年



洲鼻海岸（下松市）

平成29年度「やまぐちのキレイな海岸フォトコンテスト」環境保全活動部門 優秀作品
 撮影者 森重 夕紀

平成29年度環境保全に関する川柳入選句

【選者 山口県川柳協会 会長 大場孔晶】
(敬称略)

賞	作 品	氏 名	所属等
金	エコ文化 未来へつなぐ ロングパス	神 垣 唯 人	東洋鋼鈑(株)技術研究所
銀	リサイクル 職場のモラル 見え隠れ	大 谷 時 博	(株)日立製作所笠戸事業所
	瀬戸内の 水明に咲く 子の笑顔	三 好 和 己	宇部興産(株)伊佐セメント工場
銅	エコ活動 みんな少しの やる気から	為 近 康 太 郎	西部石油(株)山口製油所
	ゴミひとつ 捨てる拾うで 変わる町	大 道 一 昭	(株)神戸製鋼所長府製造所
	未来図を 心に描き 自然保護	中 村 好 徳	一般
佳作	ちびっこが 無邪気に遊ぶ 瀬戸の海	田 坂 公 志	東洋紡(株)岩国事業所
	猛暑日に おもわず飛び込む 澄んだ海	田 坂 公 志	東洋紡(株)岩国事業所
	覗き込む 笑顔が映える 清い川	竹 本 章 彦	日本製紙(株)岩国工場
	清い川 ゴミ拾う顔に 光る汗	瀬 戸 浩 文	日本製紙(株)岩国工場
	瀬戸の海 豊さ守る 僕らの手	久 保 祐 介	日本製紙(株)岩国工場
	変わらない 古里の海 潮の風	峯 石 美 和	中国電力(株)上関原子力発電所準備事務所
	澄んだ水 隣で覗く 孫の顔	加 藤 則 子	武田薬品工業(株)光工場
	ただいまと 帰れる故郷 瀬戸の海	中 田 美 輪	新日鐵住金ステンレス(株)製造本部光製造所
	海開き ゴミのない浜 はしゃぐ声	松 本 泰 治	鋼鈑工業(株)
	ゴミ拾い 晴れる心と 澄む浅瀬	河 野 宏	鋼鈑工業(株)
	道端の ごみモンスター ゲットだぜ	水 野 聡	(株)トクヤマ徳山製造所
	瀬戸の幸 感謝をこめて ゴミ拾い	原 本 浩 隆	出光興産(株)徳山事業所

賞	作 品	氏 名	所属等
佳作	みんなで守り 世界に誇れ 瀬戸の海	佐藤 浩二	(株)出光プラントック徳山
	爽やかな 海風になり 自転車で	杉原 満	(株)出光プラントック徳山
	次世代に 自慢をひとつ 瀬戸の海	福田 隆	日本ゼオン(株)徳山工場
	守り継ぐ 蛍の棲める 清い川	岡林斗志樹	東ソー(株)南陽事業所
	蒼い海 子供へ贈る エコの種	西村 康成	宇部興産機械(株)
	瀬戸内の 絆で守る 青い海	栗田 武	宇部興産海運(株)
	里山を 整備し守る 海の幸	古谷 誠	(株)神戸製鋼所長府製造所
	笑顔咲く きれいな浜の 瀬戸の海	三隅 彩楓	山陽小野田市立厚狭中学校第1学年



大津島馬島港（周南市）

平成29年度「やまぐちのキレイな海岸フォトコンテスト」景観部門 入選作品
 撮影者 矢坂 知嗣

環 境 学 習 教 材

利 用 案 内

----- 問い合わせ・申し込み先 -----

山口県環境学習推進センター

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 セミナーパーク内
公益財団法人 山口県ひとづくり財団

TEL 083-987-1110

FAX 083-987-1720

E-mail kankyo.c@hito21.jp

URL <http://eco.pref.yamaguchi.jp/learning>

<教材の申し込みにあたって>

◇貸し出している場合があるので、事前に電話やメールでご確認ください。

◇利用申込書は、下記ホームページからダウンロードできます。

<http://eco.pref.yamaguchi.jp/learning/shiraberu/kyozai/index.htm>

みずべ山口 No. 35

平成30年2月

山口県瀬戸内海環境保全協会

〒753-8501 山口市滝町1番1号

山口県環境生活部環境政策課内

TEL 083(933)3038

FAX 083(933)3049
